

令和6年度 第2回 学校運営協議会（記録）

1 日 時 令和6年12月16日（月） 13：30～15：30

2 場 所 北海道岩見沢高等養護学校 会議室

3 出席者

横山 孝博 様（岩見沢あかり家 施設長）

細川 和則 様（社会福祉法人 北海道社会福祉事業団

福祉村 総合施設次長）

瀬尾 正徳 様（新東町団地自治会長）

疋田 博和 様（岩見沢市立東小学校 校長）

嶋津 美樹子 様（北海道岩見沢高等養護学校 PTA 会長）

欠席者 大山 祐太 様（北海道教育大学岩見沢校 准教授）

横田 佳奈 様（岩見沢市立東小学校 PTA 会長）

4 次 第

○辞令交付

○校長挨拶

○日程説明

○授業見学（第5校時）

各教室、体育館などでの授業の見学を行う。

○説明・意見聴取

（1）これまでの主な教育活動の報告（スライドでの紹介）

・学校祭：7／19（金）、20（土）

学年発表、部活動発表、実行委員会企画、販売等を行った。

・体育大会：9／13（金）

ワンツーパーチ、玉入れなどを行った。

・パラリンピック報告会&お祝い会：9／27（金）

餅つきをしたり、池崎さんにメダルを見せてもらったりした。

・職場実習（2学年）：10／7（月）～11日（金）

実習先は官公庁や事業所等多岐にわたる。

・いわみざわアートアカデミー（2学年）：11／18（月）

美術の時間に表現方法やイラストの書き方を岩教大生に習った。

（2）令和6年度学校評価について

11／15（金）～12／2（月）実施。現在、集計中。来年度の計画に反映できるようにまとめていきたい。

（3）専門学科の取り組みについて

【生活科学科】、【工業科】、【商業科】

・質疑は特になし

5 協議

テーマ「地域とのつながりを深め、広げる学校」について

地域とのつながり、学びのつながりを深め広げる“岩見沢高等養護学校”

～社会人としての基盤づくりにつながる 高校生活の学びと体験の拡充～

◆ 協議の内容・各委員からの意見など

<生徒の主体的活動について>

○生活に密着した教え方をされていて良いなと感じた。目標を立てて教育をされていることもわかったので継続していただけるとありがたい。

>障害に向き合って生活するチカラをということでは、生活科学科の調理の技術の他にも、HR(特別活動)や、自立活動の授業でも取り組んでいる。

<授業見学等の感想>

○高等養護は生徒の特質を理解した上で寄り添いながら実践されている。生徒の就労、自立を考えた時にどう授業を構築しているかを見させていただいた。

○生徒はだんだんたくましくなっている。顔が変わってきたと感じた。保護者を大事にしながら意見を伺って反映させていくことが大事ではないかと思う。

○高等学校でレベルの高い授業。生徒の集中もあった。我々がどのように生徒の皆さんを受け止めるかを考えながら拝見した。

○保護者目線で授業を見せてもらった。各教科の先生方も熱心に教えてくださっていて保護者としても安心している。

商業科は地域ブランドを活かした商品を開発しており、楽しみにしている。学校祭での販売はこれからもお願いしたい。

>例年、開発する商品に岩見沢市（空知管内）の食材を入れて商品開発を行っている。

>去年はカリフラワー米を使用したもの、一昨年は常温で持ち帰ることができるマカロン、それ以前はハニーメロンパンをイオンで販売するなどもしてきた。

○学校のことを聞く機会が貴重。資格はどのような仕事につながるか？生徒さんが社会に出てどういう位置にたたれるか関心がある。

○校長挨拶